

# 図書館だより

NO. 106 2006年 12月号  
(2006年12月1日発行)

はつかいち市民図書館  
電話(0829)20-0333  
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

## 世界文化遺産厳島神社登録 10 周年

厳島神社と世界遺産に関する本の展示  
(展示期間 12月1日(金)～12月27日(水))

厳島神社は1996年12月7日に文化遺産として世界遺産に登録され今年で10周年を迎えます。廿日市市内においても10周年を記念してさまざまなイベントが開催されています。

厳島神社が世界遺産に登録された区域は、本社社殿と前面の海及び弥山原生林を含む森林区域432.1ヘクタールで、厳島全島の14パーセントを占める広い範囲にわたっています。厳島神社は、弥山を中心に深々とした緑に覆われた山を背景として、海上に鮮やかな朱塗りの社殿群を展開するという、世界でも例を見ない大きな構想の下に独特の景観を作り出しています。また、潮の干満を利用した神社の設計は国際的にも例がなく、建造物と自然とが一体になった価値の高さが評価され、世界遺産に登録されました。

世界中のあらゆる地域には、国や民族が誇る文化財や自然環境があり、世界遺産の目的はこの素晴らしい文化や自然を守っていきこうというところにあります。世界遺産は単に自然保護、文化財保護のためだけにあるものではありません。世界遺産に登録されたものを知ること、その国の文化や産業、技術、歴史、自然景観などが見えてきます。この機会に、私たちの身近にある世界遺産宮島についての知識を深めつつ、世界中の世界遺産を通じて他国の文化と歴史、自然についての理解を深めてみませんか？

### 今月の展示

〈一般書〉

- ・正面展示 『厳島神社と世界遺産』

厳島神社が世界遺産に登録されて今年で10年になります。厳島神社と世界遺産に関する本を集めて展示しています。

- ・展示コーナー『さくらびあ物語の本』ークリスマスに関する本ー

12月10日(日)に「新イタリア合奏団クリスマス・コンサート」が開催されます。一足早くコンサートに出かけたり、クリスマス小物を作ったり、クリスマスシーンの描かれている名作を読んで、クリスマス気分を盛り上げてみませんか？

〈児童書〉

- ・子どもの本の展示コーナー 『メリークリスマス!』

クリスマスを迎えるまでのこの時期、街はイルミネーションの輝きでとても華やかです。今月はクリスマスにぴったりの温かいそして楽しい本をいっぱい用意しました。

# わたしのすすめる本

# 原稿集中!!

一般書

『風味絶佳』

山田 詠美/著

913.6/ヤ

2005年 文芸春秋

「私のことはグランマとお呼び！」と孫の手の甲をピシャリと叩くアメリカかぶれの祖母、不二。若い恋人を助手席に乗せ彼を「必需品」とよび、米軍横田基地近くで、はやらないバー「FUJI」を営んでいる。

若き日のアメリカ兵との恋、破局。それを胸に秘め18才の孫に恋の手練を指南する。

女の子はシュガー&スパイス。男はやさしいだけではダメ。甘くとろけるものは女の子だけではない。風味絶佳。ミルクキャラメルの味。

紹介者 佐野 静子 様

児童書

『ローワンと魔法の地図』

エミリー・ロッダ/著

933/ロ

2000年 あすなろ書房

この本は内気で引っ込み思案の少年ローワンが禁じられた山に7人の仲間と登り、リンの谷に流れなくなった川を流すようにした物語です。ローワンと山に登った仲間はつぎつぎに減っていきます。そして最後はローワンだけがのこりました。

さてローワンは、再びリンの谷に川の水を流すことができるのでしょうか？興味のある人はぜひ、読んでみてください。

(これはシリーズ本です。)

紹介者 Y, N 様

<ローワンのシリーズは全5巻です>

## 今月の新着

## おとなの本

図書館には1カ月に約800冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

☆☆ 図書館のホームページで新着図書の一覧を見ることができます ☆☆

『打ちのめされるようなすごい本』米原万里/著 文芸春秋 019/ヨ

『絵本で楽しむ孫育て』草谷桂子/著 大月書店 019.5/ク

『モタさんのいい人生をつくる一日一話』齊藤茂太/著 PHP研修所 159/サ

『チョツちゃんは、もうじき100歳』黒柳朝/著 黒柳徹子/著 主婦と生活社 289.1/ク

『ドイツ病に学べ』熊谷徹/著 新潮社 302.3/ク

『三角ベース覚えてますか?』草野のりかず/著 秀和システム 384.5/ク

『世界でもっとも美しい10の科学実験』ロバート・P.クリス/著 日経BP社 402/ク

『脳はなにかと言いつくす』池谷裕二/著 祥伝社 493.1/イ

『ちょい太でだいじょうぶ』鎌田実/著 集英社 498.3/カ

『広島の安心・安全リフォームvol.1』 Goodライフ企画 L527.0/ヒ

『「35歳からの出産」を選ぶあなたに』吉水ゆかり/著 亜紀書房 598.2/ヨ

『働くママの超かんたんレシピ』ブティック社 596/ハ

『お父さんはなぜ運動会で転ぶのか?』辻秀一/著 PHP研究所 780.7/ツ

『人生で大切なことは海の上で学んだ』白石康次郎/著 大和書房 785.7/シ

『金メダルへの道』荒川静香/著 日本放送出版協会 784.6/ア

『先を読む頭脳』羽生善治/著 新潮社 796/サ

『豪憲はなぜ殺されたのか』米山勝弘/著 新潮社 916/ヨ

『ライオンと蜘蛛の巣』手嶋竜一/著 幻冬舎 914.6/テ

『異常気象売ります 上・下』シドニィ・シェルダン/著 アカデミー出版 933/シ

# あたらしく入った本 ことものほん

## 『くらい くらい』

『おでかけ ばいばい』『めんめん ばあ』

はせがわ せつこ/ぶん

やぎゅう げんいちろう/え

福音館書店 E/ヤ

「まっくら くら くら くらーい くらい でんきを つけて ちょうだい」暗いページに黒い影。電気をつけると、ことりがにっこりと現れます。次はだれかな？声に出して読むとより楽しくなる赤ちゃん絵本、シリーズで3冊出版されました。

## 『スローライフから学ぶ

### 地球をまもる絵事典

できることからはじめてみよう』

辻 信一/監修 PHP研究所 519/ス

私たち人間は、あれもこれも欲しいとモノをいっぱい抱え込んで生活してエネルギーをたくさん消費しています。この本は、そんな生活を見直しムダなモノやコトを引き算していく暮らしを提案しています。わかりやすいアドバイスが満載です。

## 『黒潮牧場の馬です。』

菊地 俊/作 新日本出版社 913/キ

「土佐黒潮牧場」は全国でも珍しい馬の養老牧場です。競走馬の大部分は、引退したら処分される運命ですが、ここでは幸せな余生を送れる馬の楽園です。自然の中で暮らす馬と、私財を投じて献身的に馬の世話をする濱脇さん一家を描いた、実話に基づくフィクションです。

## 『干し柿』

西村 豊/写真・文 あかね書房 E/二

しぶ柿は見た目はあま柿と同じでも、味はしぶくて食べられません。ところが、干し柿にすると甘くて美味しい味に。これは自然と人の力で甘くなったのです。その干し柿の作り方を写真で紹介。私たちが自然からの恵みをたくさんもらって暮していることを考えるヒントになる本です。

## 『森の工作図鑑 vol.1

—どんぐり・まつぼっくり—』

## 『森の工作図鑑 vol.2—落ち葉—』

岩藤 しおい/著 いかだ社 750/イ

雑木林や公園にじゅうたんのよう広がる色とりどりの落ち葉、その落ち葉をきれいなまま持ち帰るにはコツがあります。そのコツを学んで、ネームプレートやリース、人形などを作ってみませんか？どんぐりやまつぼっくりの工作もシリーズであります。

## 『クリスマスの子犬』

R・G・イタリタ-/作 若林 千鶴/訳

むかい ながまさ/絵 文研出版 933/イ

ザッチがドッグシェルターでもらってきたティナは、いたずらざかりの子犬。裏庭から脱走するのが大好きだけど、いつもちゃんと家にもどっていた。ところが、父さんの誕生日の夜、庭に出されたティナは、その夜帰ってこなかった。少年と子犬との交流を描いた温かい物語。

● 『紙芝居の演じ方Q&A』 まつい のりこ/作・絵 童心社 779.8/マ(児童研究書コーナー)

● 『根本式語呂あわせでおぼえる 難読漢字 一巻 魚編』

根本 浩/著 森谷 健司/イラスト 汐文社 811/ネ

● 『「ゲド戦記」の世界』 清水 真砂子/述 岩波書店 930.2/ル(児童研究書コーナー)

● 『ブラッカムの爆撃機—チャス・マギルの幽霊 ぼくを作ったもの—』

ロバート・ウェストール/作 宮崎 駿/編 金原 瑞人/訳 岩波書店 933/ウ

● 『百まいのドレス』

エレナー・エスティス/作 石井 桃子/訳 ルイス・スロボドキン/絵 岩波書店 933/エ  
50年ぶりの改訳新版のロングセラー

# 子どもと本の講座

第3回目の子どもと本の講座は、11月18日(土)に開催され、37人の参加がありました。広島県子どもの読書連絡会の会長できりん文庫を主宰されている野間きみ子さんを講師に迎え、小学校高学年からヤングアダルトにすすめたい本をテーマに話をしてもらいました。

小学校高学年以上の子どもに本をすすめるときにどのようにしたらよいかについては、鴻上尚史/著『俳優になりたいあなたへ』(ちくまプリマー新書 筑摩書房 771.7/3)を例に挙げて紹介されました。この本の中で鴻上さんは、10代から20代の人に向けて俳優になるためにはどのようにしたらよいかを説明し、俳優という仕事は「作者の言葉を、観客や視聴者に伝えることだ。自分自身の言葉でばかり語ると視聴者に飽きられる。」と書かれています。野間さんによると同じことが、子どもに本を紹介する時にもいえるそうです。その作品のテーマを的確に捉え、その後自分らしくその作品を紹介することで子どもたちに本の魅力が伝わると話されていました。このほかたくさんのおすすめの本を紹介していただきました。

参加者の感想からは、「紹介して下さった本を読みたいと強く思いました。1冊の本を紹介してもそのバックには何十倍何百倍もの本があればこそ奥行きのある紹介ができるのだなと思いました。」という感想もあり、子どもに本を手渡していくためにまずは紹介する側がたくさんの本を読むことが大切なのだと思われました。

## 第4回 子どもと本の講座

図書館員による新刊絵本の紹介

2005年11月~2006年10月  
の間に図書館に入った本

日時 12/13(水)  
10:00~12:00

場所 廿日市市役所7階 会議室  
(申し込みは不要です。)

## 年末年始

## 休館日のお知らせ

**12月28日(木)~1月4日(木)**

ブックポストの容量に限りがありますのでできるだけ開館中に本をお返しいただくようご協力をお願いします。



## 12月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1 ◎	2
3	4 休館	5	6	7	8	9 ☆
10	11 休館	12	13 ◆	14	15 ◎	16
17	18 休館	19	20	21	22	23 ☆
24	25 休館	26	27	28 休館	29 休館	30 休館
31 休館						

◎…ちいさいこのためのおはなしかい

場所：図書館

対象：乳幼児

時間：11時~

☆…おはなしかい

場所：図書館

対象：幼児・小学校低学年

時間：11時~

◆ …子どもと本の講座 第3回目

場所：市役所7階 会議室